鹿児島大学
共同獣医学部畜産学科
（令和６年度開設）
学生確保の見通し等を記載した書類

目　　次

１．学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況
（１）設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析 ・・・・・・ 3
（２）地域・社会的動向等の現状把握・分析 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（３）新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
（４）学生確保の見通し ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
（５）学生確保に向けた具体的な取り組みと見込まれる効果 ・・・・・・・・・・・・・・ 7

２．人材需要の動向等社会の要請
（１）人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）・・・・・・・・・・・ 8
（２）社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠・・ 9

１．学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

（１）設置又は定員を変更する学科等を設置する大学等の現状把握・分析

昭和 30 年代の農業構造改革を背景とし、昭和 38 年４月に本学農学部に畜産学科が新設された。畜産化学、家畜栄養学、家畜育種学、家畜繁殖学の４講座で発足し、後に畜産製造学及び家畜管理学を加えた６学問分野による教育研究体制となった。平成２年度の獣医学科を除く本学農学部改組（６学科を、生物生産学科、生物資源化学科及び生物環境学科の３学科に再編）によって、畜産学教育組織は、生物生産学科家畜生産学講座（家畜育種学、家畜繁殖学、家畜管理学）と生物資源化学科動物生化学・食品化学講座（後に食品機能化学講座に改名；家畜栄養学、畜産化学、畜産製造学）に分かれた。さらに平成 28 年度の農学部改組以降、農業生産科学科を構成する３つの教育コースの１つ（畜産科学コース）となり、現在６学問分野（家畜育種学、家畜繁殖学、家畜管理学、食肉科学、家畜生体機能学、栄養生化学・飼料化学（旧：家畜栄養学））から成る教員組織が担当している。畜産化学及び畜産製造学の２分野は名称を変更して現在の食料生命科学科に配置され、畜産学教育から大きく方向性を変えている。本学は昭和38年に畜産学科を設置して以来60年近くに亘って、多くの有為な人材を畜産業界及び関連産業界に供給し、鹿児島・南九州地域が我が国有数の畜産地帯へと成長を遂げることに大きく貢献してきた。だが、後述するように昨今の国内外の畜産を取り巻く状況は著しく変貌し、解決すべき多くの課題が山積すると同時にさらなる変革の波が押し寄せようとしている。今後も鹿児島・南九州地域と我が国の畜産を高度にそして持続的に発展させていくためには、新しい時代の畜産業を指導的立場で牽引できる高度な専門的知識を持った有為な人材の育成と輩出が急務である。

（２）地域・社会的動向等の現状把握・分析

昨今の国内外の畜産を取り巻く環境や社会情勢は大きく変化し、世界的な畜産物需要量の増加を背景に、飼料の不足と価格高騰、排泄物等による環境負荷の増大、豚熱や鳥インフルエンザ等の病原体の侵入や蔓延、動物福祉（アニマルウェルフェア）や SDGs への対応、さらには地球温暖化による家畜の暑熱ストレスの深刻化など、発生する諸課題はますます複雑・多岐にわたっている。このような中、今後も我が国の畜産を高度にそして持続的に発展させていくためには、畜産に関する幅広い知識と技術を持つと共に、多様な視点から課題解決に取り組む人材の育成が急務とされている。

（３）新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

鹿児島大学では、農学部及び共同獣医学部の２つの学部が連携し、畜産学教育の充実を図り、多様な専門基礎知識と技術を習得した畜産技術者の養成を行うための新しい教育組織「鹿児島大学共同獣医学部畜産学科」（以下：共同獣医学部畜産学科）を、令和６年４月に設置すべく準備を進めている。新設する共同獣医学部畜産学科では、畜産学と獣医学のハイブリッド教育により、動物福祉に基づく持続可能な動物生産から人の健康・安心・安全に配慮した食料生産を完遂し、我が国の畜産分野の国際競争力強化に資する人材の養成を目的とする。

この目的を達成するため、共同獣医学部畜産学科では、動物福祉、持続的家畜生産、人の健康・安心・安全と食料生産、高付加価値な畜産物の作出と評価、動物診療補助などの畜産

学と獣医学の双方の分野にまたがる幅広い専門知識と技術を、学生が自身のキャリアデザインプランに応じて体系的に組み立てながら実践的に学べるカリキュラムを設定する。カリキュラムの実施に必要な教室、実験室及び実験・実習設備などの物理的な要因と教員数等の関係から総合的に判断した結果、共同獣医学部畜産学科は入学定員 30 名及び収容定員 120 名とする。

学生納付金の額は、鹿児島大学の他の学部（法文学部、教育学部、医学部、歯学部、工学部、農学部、水産学部）と同様に、「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」に定める標準額と同額に設定する。

（４）学生確保の見通し

①学生確保の見通しの調査結果

改組による新しい畜産学教育課程が、高校生及び高校教諭（進路指導部）のニーズと合致していることを確認するため、高校生及び高校教諭を対象に Google フォームを利用した Web アンケートを令和４年９月 22 日～10 月９日に実施した（資料１）。

依頼文を、全国の鹿児島大学農学部及び共同獣医学に進学実績がある高校ならびに畜産教育課程を設置している農業系高校にメール送付した後、専用Webサイトを通じて回答を求め、16 の高等学校から生徒 421 人及び教諭 35 人から有効回答を得た。また、鹿児島市内の７校については大学教員が直接出向いて、アンケートへの協力の要請を行った。

生徒（421 人）による回答内訳は、都道府県別では鹿児島県 322 人、広島県 55 人、岐阜県 21 人、福岡県８人、愛知県８人、宮崎県６人、不明１人であった。高校別内訳は、普通高校 225 人、農業高校 195 人、その他１人となっており、学年は１年生 125 人、２年生 220 人、３年生 75 人、卒業生１人であった。本学に進学を希望する学部に関する質問では、上位から、農学部 41%、医学部 22%、共同獣医学部 22%の順であった。農学部と共同獣医学部が上位に位置する理由として、アンケート対象者の半数弱が農業高校生徒であったこと、農学系への進学を希望している生徒を対象としてアンケートを実施した普通高校が含まれていたことが考えられた。大学で学びたいことについての質問では、専門的な知識や技術が 70%近くを占め、次いで資格の取得が 18%であり、高校生が大学教育における専門知識や技術の習得に期待していることが窺えた。資格取得への期待もあるが、資格の内容とその有用性については今後さらに周知していく必要性があることも示された。本学の畜産教育改革に関する質問では、37%以上の生徒が新しい畜産学教育に興味を持ち、419 人中 59 人が受験対象として考え、畜産学の教育の充実（47%）や獣医学教育の付加（33%）への期待が窺われる結果となった。入学者選抜に関する質問では、学校推薦型選抜を選択した生徒が最も多く 29 人となり、次いで前期日程 26 人となった。本学の新しい畜産学教育課程は、６割近くの生徒が就職する際に有利になると考えており、自由記述においても、畜産学教育を通して取得できる資格、獣医師資格との関係、新しい教育課程の体験希望についてのコメントが寄せられた。このように、新しい畜産学教育課程は畜産関連を志望する高校生には魅力的であると感じており、また志望する分野が異なる多くの生徒も関心を示した。その一方で、よく理解していない生徒も多いことも認められ、全国を視野に、より詳細な情報の広報と周知が必要と考えられた（資料２）。

教諭（35 人）による回答内訳は、都道府県別では、鹿児島県 19 人、広島県３人、福岡県３人、宮崎県２人、熊本県２人、愛媛県・岐阜県・茨城県・新潟県・愛知県・不明が各１人であった。修学課程は、普通高校 20 人、農業高校 14 人、その他１人であった。生徒に進学を勧めたい学部は、上位から農学部 88%、共同獣医学部 68%、医・工・水産学部が同率 53%の順であった。農学部と共同獣医学部が上位に位置する理由としては、アンケート対象者の４割が農業高校教諭であったことのほか、理系進学先の第一候補として農学系や獣医系を生徒に勧めたいとの考えが示された。大学で学ばせたいことについての質問では、専門的な知識や技術が 26 人、実社会で通用する学士力の取得が５人と、大学教育における知識や技術の修得に期待することが窺えた。本学の畜産教育改革に関する質問では、90%以上（32／35 人）の教諭が興味を示し、77%（27／35 人）の教諭が生徒に受験を薦めるとの意向を示した。入学者選抜では、一般入試（前期）の選択が最も多く 15 人であった。次いで学校推薦型選抜（普通科）11 人及び学校推薦型選抜（実業系高校）11 人となり、普通高校及び農業高校のいずれも、推薦入試への期待が窺えた。進路指導は、大学進学において生徒の希望が最優先に、続いて大学・学部・学科の教育内容と社会ニーズを考慮していた。その視点から、本学の新しい畜産学教育課程については、60～70%の教諭が社会ニーズの増加に応じて就職に有利と考えており、共同獣医学部に組み込まれることによる畜産学科の志願者増や偏差値・難易度の上昇を危惧する声があった一方で、本気で畜産を目指す生徒が入学できるよう推薦型・総合型選抜の拡充への期待は極めて大きく、九州の畜産・和牛を学べる４年制大学（国公立大学）進学への高い意識の生徒増に対する新教育課程の対応を求めるコメントを多く認めた。このように高校教諭は、本学の新たな畜産学教育課程について、就職や社会ニーズの高さに期待し、有望な進学候補として捉えていた（資料２）。

②新設学部等の分野の動向

鹿児島県と同じく宮崎県も我が国有数の畜産地帯であり、畜産学・獣医学系教育に対する受験生のニーズにも類似性があると考えられる。表1に示すように、令和４年度の宮崎大学農学部畜産草地科学科入試においては、募集人員 61 人に対して志願者 242 人、合格者 72 人、入学者 61 人、定員充足率 100%となり、南九州地域での畜産学教育に対する多くの受験ニーズが確認できる。

③中長期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向等

文部科学省が Web サイトで公開している「18 歳人口及び高等教育機関への入学者・進学率等の推移」（※）によると、本改組で第１期の入学を想定しいている 2024 年から、第８期生が入学する 2031 年までの 18 歳人口は 100 万人を超えることが想定されている。また文部科学省「学校基本調査」によると 2032 年度の 18 歳人口の減少率は全国平均 88.9%であるが、九州・沖縄地域の減少率は 94.4%にとどまると予測されている。18 歳人口の減少による受験倍率の低下は避けられないが、項目②及び④で述べるように畜産系学部・学科には一定の受験ニーズがあるため、魅力的なカリキュラムの整備と人材輩出の実績を積むことで、長期間にわたって学生を確保することは可能である。

※ https://www.mext.go.jp/content/20201209-mxt_ daigakuc02-100014554_2.pdf

④競合校の状況

現在、全国の国公立・私立大学において、16 の大学が畜産学部、畜産学科又は畜産学に類する教育組織を設置している。そのうち、帯広畜産大学（畜産学部畜産科学課程）、北海道大学（農学部畜産科学科）、宮崎大学（農学部畜産草地科学科）が畜産学部又は畜産学科を設置している。表１に示すように、各校の受験倍率（志願者数/合格者数）は 2.2～6.1 倍にあり、定員充足率も 100％を満たしていることから、畜産系学部・学科に一定の受験ニーズがあると言える。

表１．競合校における令和４年度の入学志願状況

競合校・学部等名	志願者数	受験者数	合格者数	受験倍率	入学者数	定員充足率
北海道大学農学部（一般選抜のみ）	378	152	62	6.1	53	100
帯広畜産大学畜産学部畜産科学課程（総括）	509	393	229	2.2	214	102
宮崎大学農学部畜産草地科学科（総括）	242	136	72	3.4	61	100

⑤既設学部等の学生確保の状況

平成 30 年度～令和４年度までの５カ年間の鹿児島大学農学部の入試状況を資料３にまとめた。（資料３）

現在の農学部学生定員 205 人のうち 30 人を共同獣医学部畜産学科へ移行させるが、これは現行の農学部農業生産科学科畜産科学コースへ配属される学生数を根拠としている。表２には農業生産科学科の志願者数の過去５年間の推移を、表３には畜産科学コースへの配属数の過去５年間の推移を示した。農業生産科学科（入学定員 71 人）の志願者数は 180～234 人で推移しており、志願倍率は 2.54～3.30（平均 2.85 倍）と、畜産科学コースを含む当該学科の受験者の母数は十分に確保されている。（表２）この中から畜産科学コースを希望する者が、共同獣医学部畜産学科の志願者数に相当すると予測している。農業生産科学科では、２学年進級時に、応用植物科学コース、畜産科学コース及び食料農業経済学コースの３コースに分かれるが、各コースへの学生配属数は、学生の希望と学業成績に、各コースの教員数を勘案して決定される。表３に示すように、過去５年間における畜産科学コースへの配属希望者数は 24～36 人（平均は 29 人）となっており、実際に当該コースに配属された学生数は 24～27 人（平均は 26 人）で除した倍率は 1.0～1.33（平均 1.11 倍）であった。共同獣医学部畜産学科の入学定員 30 人は、過去５年間における農学部農業生産科学科畜産科学コースへの配属希望者数の平均値 29 人を基に、獣医学と畜産学の両方を学ぶ「他大学にない我が国初の魅力的なカリキュラム」が用意されていることに加えて、改組後の「畜産科学コース」から「畜産学科」への昇格により教育組織名が前面に掲げられる効果による志願者増を期待し、十分に確保できる人数と考えている。

表２．平成 30 年度から令和４年度までの農学部農業生産科学科の入試倍率

入学年度	入学定員	志願者	志願倍率
平成 30 年度	71	234	3.30
平成 31 年度	71	186	2.62
令和２年度	71	188	2.65
令和３年度	71	180	2.54
令和４年度	71	224	3.15
	５年間の平均	202	2.85

表３．平成 30 年度から令和４年度までの農学部農業生産科学科畜産科学コースへの配属状況

配置年度	希望者数	配置数	倍率
平成 30 年度	36	27	1.33
平成 31 年度	25	24	1.04
令和２年度	27	27	1.00
令和３年度	24	24	1.00
令和４年度	32	27	1.19
５年間の平均	29	26	1.11

（５）学生確保に向けた具体的な取り組みと見込まれる効果

①受験案内の作成と高校訪問、説明会の開催

令和５年６月には、改組後の共同獣医学部畜産学科の入試制度や教育体制を紹介する「受験生のための大学案内 2024」（受験案内）の作成を予定している。受験案内が完成次第、対象とする高校の進路指導担当者に今回の改組の趣旨を説明したうえで、高校生への受験案内の配布を依頼する予定である。高校からの要請に応じて、受験案内の配布と併せて、大学教員による対面又は Web によるオンライン開催で生徒・教諭向け説明（会）を行う。対象とする高校は以下の通り：①全国の鹿児島大学農学部及び共同獣医学部に進学実績のある普通科高校、②全国の農業系高校、特に畜産教育コースを設置している高校。

②オープンキャンパス

例年、８月にオープンキャンパスを開催しており、多くの受験生が参加している。（令和２～３年度は新型コロナウイルス感染症拡大のため対面での実施を中止）。令和４年度は８

月６日に共同獣医学部が、８月７日に農学部がそれぞれ開催し、両学部で高校生等 274 名の参加者（共同獣医学部参加者 133 人、農学部参加者 141 人）があった。令和５年度も同様の日程で開催予定であり、受験生、保護者、及び高校教諭等に改組後の共同獣医学部畜産学科の入試制度や教育体制を直接伝える機会となり、大きな効果が期待できる。

③入試説明会

例年、７月に九州圏内数カ所で九州地区国立大学合同説明会が開催され、農学部及び共同獣医学部も出展を行っている。この他に、令和４年度は農学部については、鹿児島県、福岡県、宮崎県、熊本県、静岡県、広島県、大分県、神戸県、長崎県、愛媛県、京都府等にて対面での入試説明会又は農学部紹介を実施した。加えてオンラインの説明会も実施した。令和５年度以降も同規模の入試説明会や学部紹介が想定され、そこに改組の概要や入試方法の説明を加えて新学科設置の広報活動とする。

④出前講義、出張授業及び高等学校との連携事業を通じた広報

鹿児島大学農学部及び共同獣医学部では、高校側の依頼に応じて実施する出前講義と、各学部で経費を負担して教員を派遣する出張授業を実施している。令和４年度は、27 件の出前講義と 23 件の高校での学部紹介及び高校生の大学訪問の実施の他、スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業への５件の支援を実施した。令和５年度は、これらの講義や支援事業の際に、改組後の畜産学科の入試制度や教育体制を紹介し、高校生に対する絶好の広報の機会とする。

⑤Web サイトを活用した広報

鹿児島大学農学部及び共同獣医学部は、それぞれ独自の Web サイトを設置して教育研究内容等の広報に努めているが、そこに特別ページを追加して、改組の趣旨の説明と改組後の入試制度や教育体制を紹介する。PC だけでなく、スマートフォン等の携帯端末でもコンテンツが閲覧できるようなプラットフォームとすることで、高校生が手軽に情報にアクセスできるような造りとする。共同獣医学部では、令和５年度より学部ホームページの改訂を予定しており、共同獣医学部に共同獣医学科と畜産学科（準備中）のページを開設する。

２．人材需要の動向等社会の要請

（１）人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

鹿児島大学では、令和６年４月に、農学部及び共同獣医学部の２つの学部が連携し、畜産学教育の充実を図り、多様な専門基礎知識と技術を習得した畜産技術者の養成を行うための共同獣医学部畜産学科を設置する。新設する共同獣医学部畜産学科では、畜産学と獣医学のハイブリッド教育により、動物福祉に基づく持続可能な動物生産から人の健康・安心・安全に配慮した食料生産を完遂し、我が国の畜産分野の国際競争力強化に資する人材の養成を目的とする。

（２）社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

最近５年間（平成 30 年度～令和４年度）において、農学部農業生産科学科畜産科学コース及び大学院農林水産学研究科農林資源科学専攻畜産科学コースを卒業した学生は 145 人であり、そのうち鹿児島県庁畜産職等として地方自治体に 35 人（24.1%）、農協や飼料事業者等の畜産業支援事業者に 19 人（13.1%）、食肉加工等の畜産物利用事業者に 19 人（13.1%）、生産牧場等の一次生産事業者に 18 人（12.4%）、受精卵移植等の畜産技術を人の不妊治療等に応用する胚培養士として医療関係事業者に 13 人（9.0%）と、畜産技術を活かした関連分野に 104 人（全体の 72.5%）が就職している。これに、農学（畜産学）系大学院進学者 28 人（19.3%）を加えると、90%以上の卒業生が畜産関連分野への進路となっている（資料４）。

畜産人材への社会的、地域的な需要の動向を知るために、平成 30 年度から令和４年度の５年間の農学部へ向けられた求人（事業者が農学部学務係の許可を介して行われる正規ルートの求人募集）データを解析した（表４）。農学部に寄せられた年間平均求人件数は 597 件、そのうちの畜産関連の年間求人件数の平均は 53 件であり、これを畜産科学コースの卒業及び修了生数の平均 28 人で除した求人倍率（求人件数／卒業及び修了生数）は、1.9 倍となった。これに事業者による複数の求人数、又は一自治体の畜産職公務員の求人数（毎年、九州・沖縄地域では 10～20 人の畜産系公務員を募集）を考慮して、「求人数／卒業及び修了生数」として算出すると、過去の求人倍率は 1.9 倍を大きく上回っていることが推測される。

鹿児島・宮崎・熊本を合わせた南九州は、北海道に相当する我が国有数の肉用家畜の生産地帯であるため、飼料事業や家畜生産事業等を含む農協関連、家畜生産企業及び食肉加工関連事業者の人材需要は極めて多い地域である。新設される共同獣医学部畜産学科の学生定員は 30 人と、従前の畜産科学コースから大幅増員となっておらず、地域社会の求人需要に対して十分に応える数とはなっていないものの、教育内容の充実による人材の質的向上、高度かつ多様なスキルを付加した人材輩出を通じて、地域社会からの要請や期待に応えていく。

表４．平成 30 年度から令和４年度の５年間の農学部への求人総数と畜産関連の求人数

	5年間の平均	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
農学部への求人総計(件数)	597	490	623	650	622	600
うち畜産関係事業者の求人(件数)						
畜産一般(生産農場等)事業	15	10	12	21	9	22
酪農	2	1	1		1	6
飼料関連事業	3	2	2	2	4	4
食肉加工関連事業	7	8	4	7	9	5
乳卵加工関連事業	2	1		1	1	3
農協関連	16	16	18	15	11	20
畜産外動物関連事業	4	1	1	8	3	7
食品衛生監視員・分析関連	2		2	1	1	2
胚培養士	4	2	3	5	5	6
合計件数(A)	53	41	43	60	44	75
畜産卒業・修了者人数(B)(カッコ内畜産系公務員)	28(6)	24(3)	31(7)	28(6)	34(5)	25(8)
畜産関連の求人倍率(A/B)	1.9	1.7	1.4	2.1	1.3	3.0
専門職・技術職(畜産職含む)公務員の求人件数	83	84	101	110	103	17

学部改組による共同獣医学部畜産学科新設に関する畜産関係者の意向を伺うことを目的に、自治体（鹿児島県内）の畜産・獣医関係の部署、農業関係団体（九州圏内）及び企業（九州圏内）を対象に支援・協力を求める文書を送付した。国内外の社会情勢の大きな変化に伴う家畜飼料の輸入価格高騰をはじめとする深刻な諸課題に困窮する農場経営の課題に加え、獣医学が関わる動物感染症、食中毒、耐性菌被害、動物福祉への対応等の社会から向けられたニーズへ対応するために、畜産学と獣医学が連携を強固にして新たな畜産システムを考究する教育研究体制の大きな変革の必要性を背景に、改組による畜産学と獣医学のハイブリッド教育構想を説明し、意見を求めた。

その結果、鹿児島県農政部及び保健福祉部、鹿児島市、曽於市、鹿児島県農業共済組合、宮崎県農業共済組合、大分県農業共済組合、鹿児島県獣医師会、JA グループ鹿児島（JA 鹿児島県中央会）、株式会社ジャパンファーム、株式会社ウェルファムフーズより、「畜産学と獣医学の素養を兼ね備えた畜産技術者の養成を目的とした共同獣医学部畜産学科（仮称）の新設構想に賛同するとともに、社会からの信頼を得ることができる基盤的な食料提供システムの構築と、高付加価値な畜産食品を生産・供給する新たな未来型畜産の創出に向けての鹿児島大学の畜産教育の改革を要請する」旨の要請書又は賛同書が得られ、国内最大の畜産業を抱える南九州の自治体及び関係団体から期待されていることが認められた（資料５）。

鹿児島大学
共同獣医学部畜産学科
（令和６年度開設）
学生確保の見通し等を記載した書類
【資料】

目次

資料１．高校向け Web アンケート調査　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
資料２．高校向け Web アンケート調査結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
資料３．最近５年間の農学部の入試状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
資料４．最近５年間の農学部農業生産科学科畜産科学コース及び大学院農林水産学研究科
　　農林資源科学専攻畜産科学コースの就職・進学の状況　・・・・・・・・・・・・・19
資料５．畜産学教育改革と人育成に関する畜産関連事業者の要請書・・・・・・・・・・・20

資料1： 高校向けWebアンケート調査　その1

令和４年９月９日

高等学校長　殿

鹿児島大学共同獣医学部長
三角　一浩

畜産学教育における農学部と共同獣医学部の連携強化に関する
Webアンケート調査について（依頼）

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素より本学の教育研究活動へのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて，昨今の国内外の畜産を取り巻く環境や社会情勢は大きく変化し，世界的な畜産物需要量の増加を背景に，飼料の不足と価格高騰，排泄物等による環境負荷の増大，豚熱や鳥インフルエンザ等の病原体の侵入や蔓延，動物福祉（アニマルウエルフェア）やSDGsへの対応，さらには地球温暖化による家畜の暑熱ストレスの深刻化など，発生する諸課題はますます複雑・多岐にわたっております。そのような中，今後も我が国の畜産を高度にそして持続的に発展させていくためには，多様な視点から課題解決に取り組む人材の育成が急務と考えられます。

そこで，鹿児島大学では，農学部及び共同獣医学部の２つの学部が連携し，畜産学教育の充実を図り，多様な専門基礎知識と技術を習得した畜産技術者の養成を行うための教育組織改革を検討しております。本教育組織改革により，現代の社会ニーズに対応させるとともに，畜産の諸課題の解決に積極的に取り組む畜産技術者を輩出することを目指しています。

つきましては，本教育組織改革の実現に向け，教育内容充実のための参考資料とさせていただきたく，Webアンケート調査を実施することとなりました。このアンケートは，これまで本学へ入学した学生の出身高校へ配付しております。次ページに本教育改革の概要と，どのような人材を育成し，どのような就職先が期待されるのかを記載しましたので，それらをご高覧いただき，ご多用中誠に恐縮ですがQRコード又はURLにアクセスのうえ，アンケート回答にご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。また，大学受験を予定している高校生の考えも大変重要なものとなりますので，生徒の皆様に本アンケートへの協力を周知していただくことを重ねてお願い申し上げます。

敬具

※アンケート回答期限：令和４年９月３０日（金）

※アンケートの回答データは全て統計処理し，個人を特定することは一切なく，目的以外に使用することはありません。

資料1： 高校向け Web アンケート調査　その2

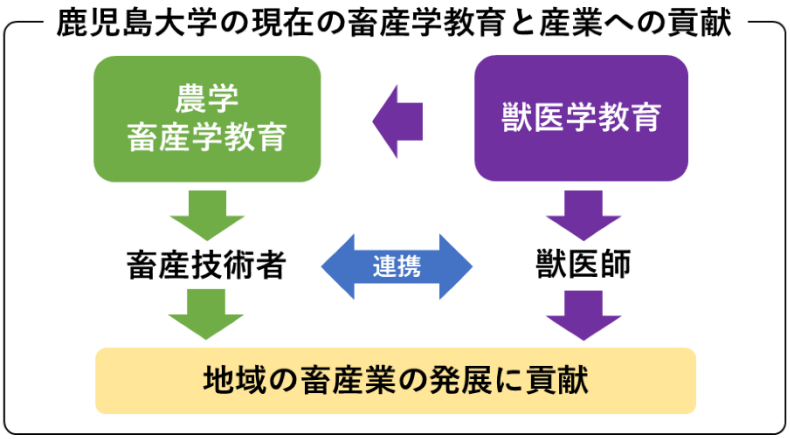
教育組織改革案

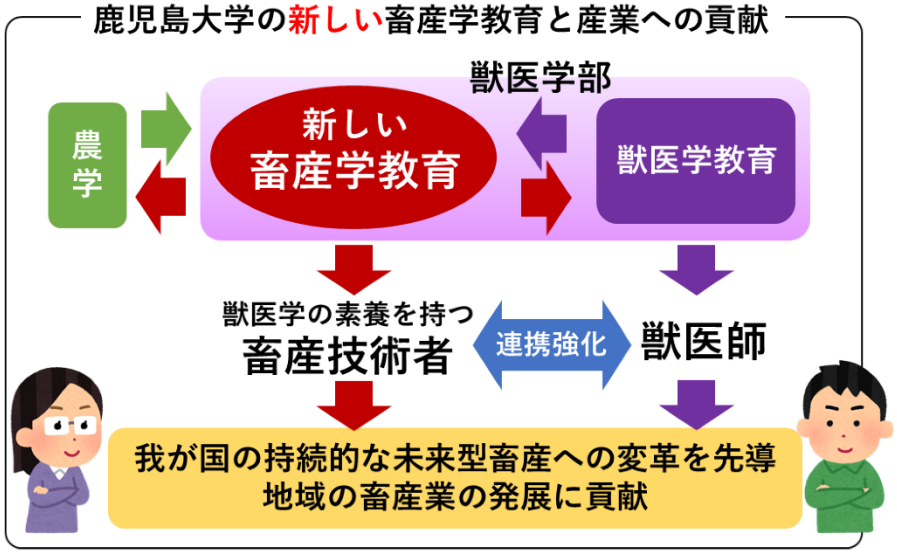
【現　在】

農学部
農業生産科学科 ■　応用植物科学コース ■　畜産科学コース ■　食料農業経済学コース
食料生命科学科 ■　食品機能科学コース ■　食環境制御科学コース ■　焼酎発酵・微生物化学コース
食料生命科学科 ■　森林科学コース ■　地域環境システム学コース
国際食料資源学特別コース

【改組後】令和 6 年 4 月

共同獣医学部
獣医学科 畜産学科（仮称）





資料1： 高校向け Web アンケート調査　その3

以下をご参考にして Web アンケートにご回答をお願いします。

Q. 教育改革による新しい畜産学教育では，どのような人材を育成するのですか？
A. 以下の様な幅広い専門基礎知識と技術を備えた畜産技術者の養成を目指します。

- アニマルウエルフェアの概念を理解し，生物学的・化学的知識を基盤として畜産学と獣医学の素養を併せ持つ人材
- 持続可能な動物生産と人の健康・安心・安全に配慮した食料生産に貢献できる人材
- 高付加価値な畜産食品の開発・流通に関する高い知識と技術を持つ人材
- 我が国における未来型畜産への新興と改革を牽引して国際競争力強化に貢献できる人材
- 取得できる資格（予定）：家畜人工授精師，食品衛生管理者・監視員（任用資格），飼料製造管理者（任用資格），食鳥処理衛生管理者（任用資格），動物看護師，牛削蹄師，JGAP 指導員，実験動物 1 級技術者

Q. 教育改革による新しい畜産学教育で育成された人材は，どのような分野で活躍できるのですか？
A. 幅広い専門基礎知識と技術や資格を活用することで，以下の様な分野での活躍を期待しています。

- 畜産獣医学に関連する幅広い知識と技術を生かした国家・地方公務員畜産職技術や行政職
- 飼料や畜産物評価に関する知識と技術を生かした飼料製造管理者や食肉評価員
- 人工授精や繁殖に関する知識と技術を生かした家畜人工授精師や胚培養士
- 動物衛生や畜産農場 HACCP／GAP に関連する知識と技術を生かした農場コンサルタント
- 食肉衛生や公衆衛生に関連する知識と技術を生かしたと畜検査関連や食品衛生検査関連職
- 臨床獣医学に関する知識と技術を生かした臨床検査や獣医療補助職
- その他：食品企業の研究開発職や食品衛生管理者，医薬等生命科学関連企業の研究開発職など

資料1： 高校向けWebアンケート調査 その4

教諭向けアンケート

■アンケートORコード

※アンケート回答期限：令和４年９月３０日（金）

■アンケートURL
QRコードでアクセスできない場合は以下のURLからアクセスをお願いいたします。
教諭向けアンケートURL　　https://forms.gle/6kTB3DkEfNsUYnUb7

■問合せ先
〒890-0065　鹿児島大学農学部農業生産科学科畜産科学コース　大塚　彰
電話/FAX：099-285-8653　　メール：k1820525@kadai.jp

★教諭向けの質問内容★

■ご回答様の所属学校等の名称をご入力ください（必須）。（　　）

■ご回答様のお名前をご入力ください（任意）。（　　）

■ご回答様の職位を選んでください。
① 教諭
② 教諭管理職
③ その他（　　）

■質問1．現在どんな高校（課程）にお勤めですか？
① 普通高校
② 普通高校（理科系）
③ 普通高校（文化系）
④ 農業高校
⑤ その他（　　）

■質問2．以下の鹿児島大学のどの教育分野（学部や学科）に生徒を進学させたいですか？（複数回答可）
① 法文学部（法経社会学科，人文学科）
② 教育学部（学校教育教員養成課程）
③ 理学部（理学科）
④ 医学部（医学科，保健学科）
⑤ 歯学部（歯学科）
⑥ 工学部（先進工学科，建築学科）
⑦ 農学部（農業生産科学科，食料生命科学科，農林環境科学科，国際食料資源学特別コース）
⑧ 水産学部（水産学科）
⑨ 共同獣医学部（獣医学科）
⑩ その他（　　）

■質問3．大学では何を学んでもらいたいですか？
① 幅広い一般教養を学ぶこと
② 実社会で通用する学士力を修得すること
③ 専門的な知識や技術を修得すること
④ 大学でしか得られない資格を取得すること
⑤ その他（　　）

資料1： 高校向け Web アンケート調査　その5

■質問4. 鹿児島大学が構想している新しい畜産学教育について興味がありますか？
① 興味がある
② 非常に興味がある
③ 興味がない
④ わからない

■質問5. 新しい畜産学教育課程ができたら，生徒に受験をすすめますか？
① 受験をすすめる
② 強く受験をすすめる
③ すすめない
④ わからない

質問5で，「受験をすすめる」や「強く受験をすすめる」を選択した方は以下の質問にお答えください。
■質問6. 生徒に受験をすすめる理由を選んでください。
① 畜産学を幅広く学べそうだから
② 畜産学分野だけでなく，獣医学分野の科目も多く学べそうだから
③ 取得できる資格があるから
④ 就職に有利そうだから
⑤ 社会のニーズに合致したことを学べそうだから
⑥ 合格しやすそうだから
⑦ その他（　　）

質問5で，「受験をすすめる」や「強く受験をすすめる」を選択した方は以下の質問にお答えください。
■質問7. 生徒に受験をすすめる試験方法を選んでください（複数回答可）。
① 一般入試（前期日程）
② 一般入試（後期日程）
③ 総合型選抜（自己推薦型選抜）
④ 学校推薦型選抜（普通科）
⑤ 学校推薦型選抜（農業，工業，家庭に関する学科並びに総合学科）
⑥ その他（　　）

■質問8. 生徒に大学受験を指導する際に、重要視する項目について選んでください（複数回答可）。
① 生徒の希望
② 生徒の能力
③ 大学，学部や学科の入試の難易度
④ 大学，学部や学科の教育内容
⑤ 保護者の希望
⑥ 学校の方針
⑦ その他（　　）

■質問9. 新しい畜産学教育は卒業後の就職に有利になると思いますか？
① 有利になる
② 非常に有利になる
③ 有利にならない
④ わからない

■質問10. これまでの説明にあるような新しい畜産学教育を学べる学部・学科等に受験者のニーズは今後増えると思いますか？
① 増える
② 今と変わらない
③ 減る
④ わからない

■質問11. 新しい畜産学教育によって幅広い専門知識と技術を修得した畜産技術者に対する社会のニーズ（就職先）は，今後増えると思いますか？
① 増える
② 今と変わらない
③ 減る
④ わからない

■質問12. その他，ご意見や疑問等がございましたらお聞かせください。

資料1： 高校向けWebアンケート調査　その6

生徒向けアンケート

■アンケートQRコード

※アンケート回答期限：令和４年９月３０日（金）

■アンケートURL
QRコードでアクセスできない場合は以下のURLからアクセスをお願いいたします。
生徒向けアンケートURL　　https://forms.gle/Qj1nNaZMhV16nAuF9

■問合せ先
〒890-0065　鹿児島大学農学部農業生産科学科畜産科学コース　大塚　彰
電話/FAX：099-285-8653　　メール：k1820525@kadai.jp

★生徒向けの質問内容★

■ご回答様の所属学校等の名称をご入力ください（必須）。（　　）

■ご回答様の学年を選んでください。
① 高校１年生
② 高校２年生
③ 高校３年生
④ 卒業生

■質問1．現在どんな高校（課程）で学んでいますか（卒業しましたか）？
① 普通高校
② 普通高校（理科系）
③ 普通高校（文化系）
④ 農業高校
⑤ その他（　　）

■質問2．以下の鹿児島大学のどの学部に興味がありますか？（複数回答可）
① 法文学部
② 教育学部
③ 理学
④ 医学部
⑤ 歯学部
⑥ 工学
⑦ 農学部
⑧ 水産学部
⑨ 共同獣医学部

■質問3．大学ではどんなことを学んでみたいですか？
① 幅広い一般教養
② 専門的な知識や技術
③ 資格の取得
④ その他（　　）

■質問4．鹿児島大学が構想している新しい畜産学教育について興味がありますか？
① 興味がある
② 非常に興味がある
③ 興味がない
④ わからない

資料1： 高校向け Web アンケート調査　その7

■質問5．新しい畜産学教育課程ができたら，受験の対象として考えますか？
① 受験したい
② ぜひ受験したい
③ 受験したいと思わない
④ わからない

質問5で，「受験したい」や「ぜひ受験したい」を選択した方は以下の質問にお答えください。
■質問6．受験の対象とする理由を選んでください。
① 畜産学について多くのこと学べそうだから
② 畜産学についてだけでなく，獣医学についても学べそうだから
③ 取得できる資格があるから
④ 就職に有利そうだから
⑤ 合格しやすそうだから
⑥ その他（　　）

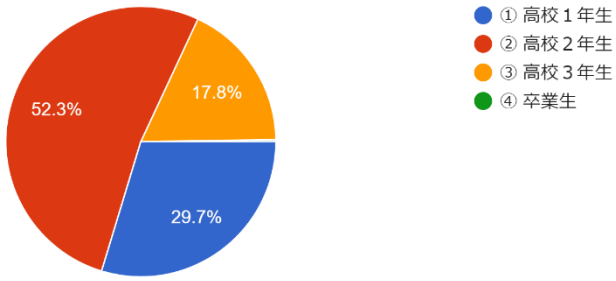
質問5で，「受験したい」や「ぜひ受験したい」を選択した方は以下の質問にお答えください。
■質問7．受験の対象とする試験方法を選んでください（複数回答可）。
① 一般入試（前期日程）
② 一般入試（後期日程）
③ 総合型選抜（自己推薦型選抜）
④ 学校推薦型選抜
⑤ わからない
⑥ その他（　　）

■質問8．新しい畜産学教育は卒業後の就職に有利になると思いますか？
① 有利になる
② 非常に有利になる
③ 有利にならない
④ わからない

■質問9．その他，ご意見等がございましたらお聞かせください。

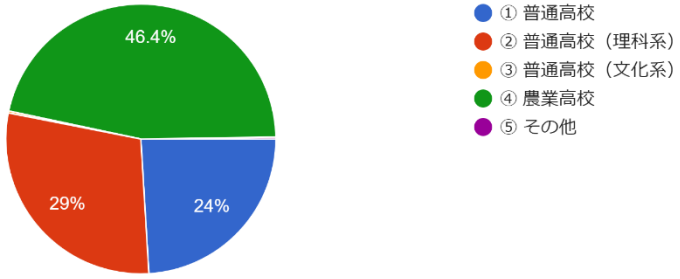
資料2： 高校向け Web アンケート調査結果　生徒　その1

ご回答者様の学年を選んでください。
421 件の回答



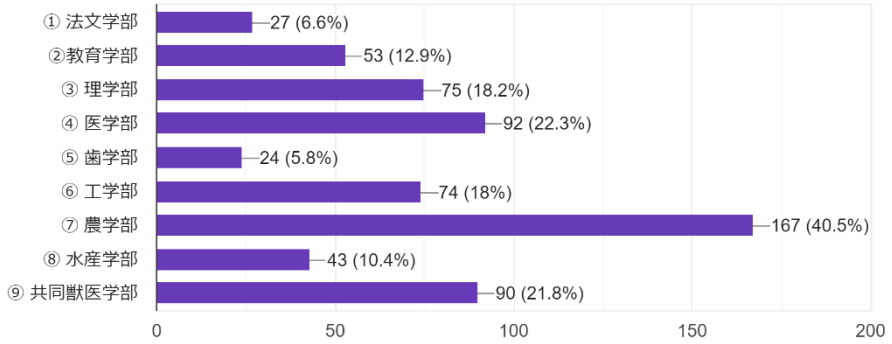
①１２５名
②２２０名
③　７５名
④　　１名

質問1. 現在どんな高校（課程）で学んでいますか（卒業しましたか）？
420 件の回答



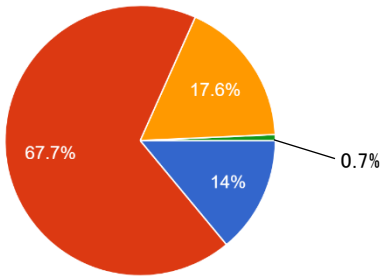
①１０１名
②１２２名
③
④１９５名
⑤　　１名

質問2. 以下の鹿児島大学のどの学部興味がありますか？（複数回答可）
412 件の回答



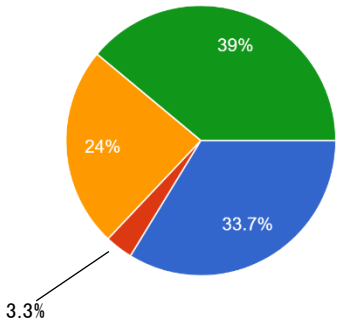
資料2： 高校向け Web アンケート調査結果　生徒　その2

質問3. 大学ではどんなことを学んでみたいですか？
415 件の回答



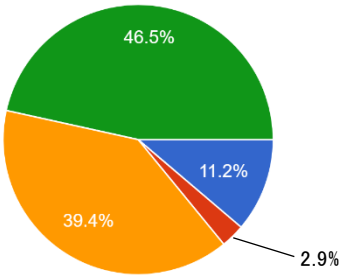
① 幅広い一般教養　①　58名
② 専門的な知識や技術　②281名
③ 資格の取得　③　73名
④ その他　④　3名

質問4. 鹿児島大学が構想している新しい畜産学教育について興味がありますか？
421 件の回答



① 興味がある　①142名
② 非常に興味がある　②　14名
③ 興味がない　③101名
④ わからない　④164名

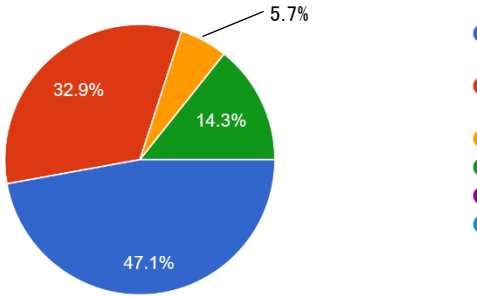
質問5. 新しい畜産学教育課程ができたら, 受験の対象として考えますか？
419 件の回答



① 受験したい　①　47名
② ぜひ受験したい　②　12名
③ 受験したいと思わない　③165名
④ わからない　④195名

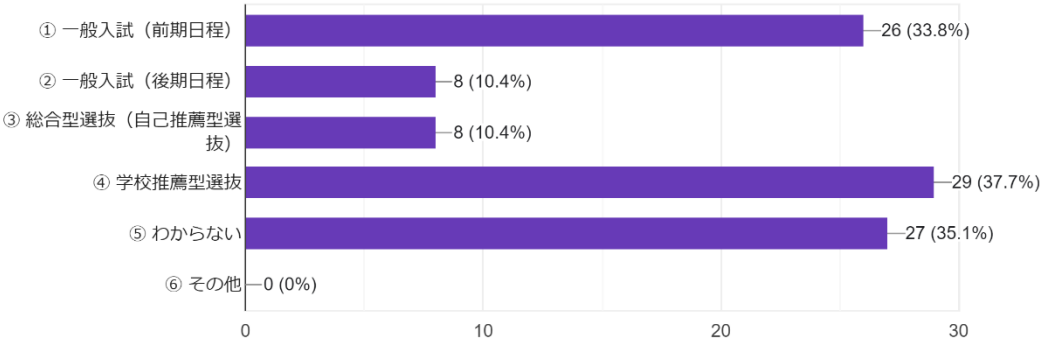
資料2： 高校向け Web アンケート調査結果　生徒　その3

質問5で,
「受験したい」や「ぜひ受験したい」を選択した方...問6. 受験の対象とする理由を選んでください。
70 件の回答

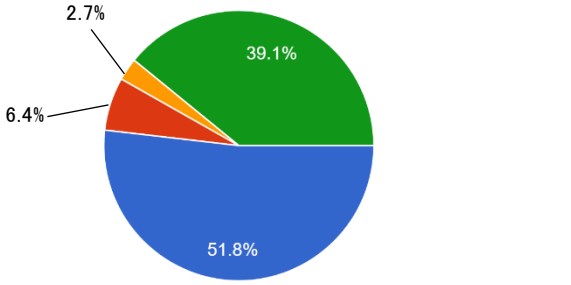


①33名
②23名
③　4名
④10名
⑤
⑥

質問5で,
「受験したい」や「ぜひ受験したい」を選択した...する試験方法を選んでください（複数回答可）。
77 件の回答



質問8. 新しい畜産学教育は卒業後の就職に有利になると思いますか？
409 件の回答



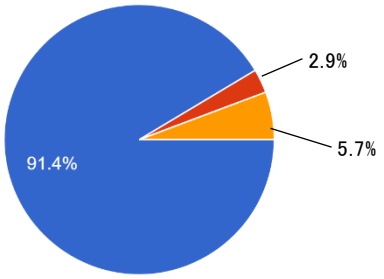
①212名
②　26名
③　11名
④160名

質問 9. その他、 ご意見や疑問等がございましたらお聞かせください。

- 畜産学教育を通して取得できる資格はありますか？
- 大学では畜産学で何をするのか
- 畜産学教育とはなんですか？
- 「獣医学について学べる」とありますが、獣医師の免許も取得できるのでしょうか？
- 新しい畜産学教育のカリキュラムでは、獣医師国家資格は取れるのですか。
- もし新しい畜産学教育課程ができたらぜひ体験してみたいです。
- 畜産学でどのようなことを学べるのですか？

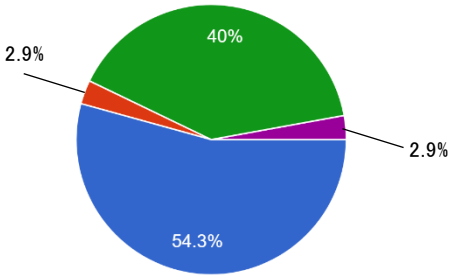
資料2： 高校向け Web アンケート調査結果　教諭　その1

ご回答者様の職位を選んでください。
35 件の回答



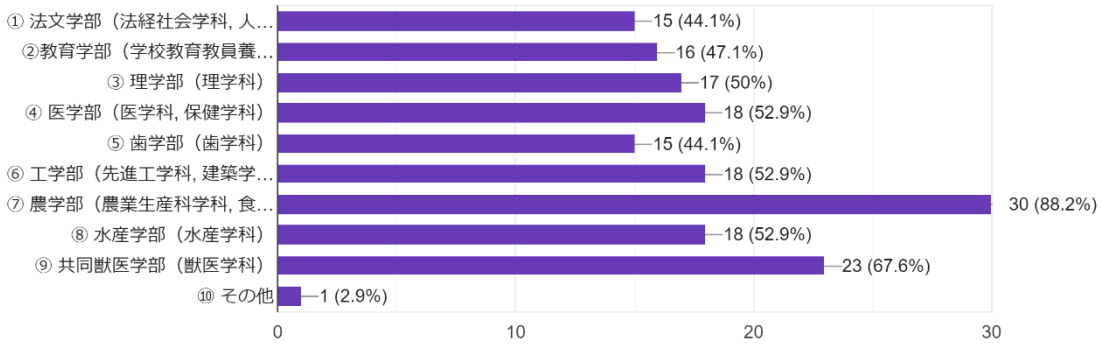
①32名
②　1名
③　2名

質問1. 現在どんな高校（課程）にお勤めですか？
35 件の回答



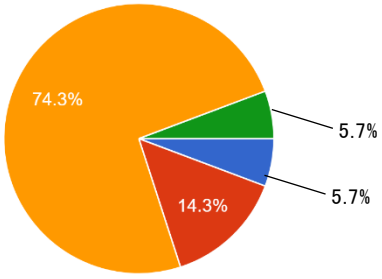
①19名
②　1名
③
④14名
⑤　1名

質問2.
以下の鹿児島大学のどの教育分野（学部や学科）に生徒を進学させたいですか？（複数回答可）
34 件の回答



資料2： 高校向け Web アンケート調査結果　教諭　その2

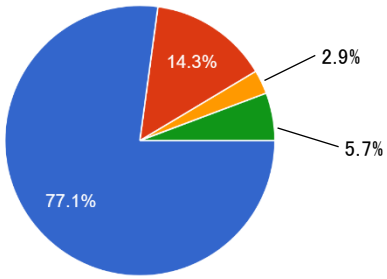
質問3. 大学では何を学んでもらいたいですか？
35 件の回答



① 幅広い一般教養を学ぶこと
② 実社会で通用する学士力を修得すること
③ 専門的な知識や技術を修得すること
④ 大学でしか得られない資格を取得すること
⑤ その他

①　２名
②　５名
③26名
④　２名
⑤

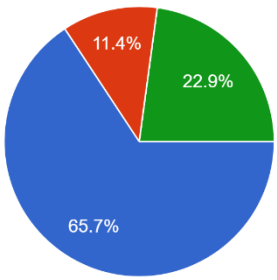
質問4. 鹿児島大学が構想している新しい畜産学教育について興味がありますか？
35 件の回答



① 興味がある
② 非常に興味がある
③ 興味がない
④ わからない

①27名
②　５名
③　１名
④　２名

質問5. 新しい畜産学教育課程ができたら, 生徒に受験をすすめますか？
35 件の回答

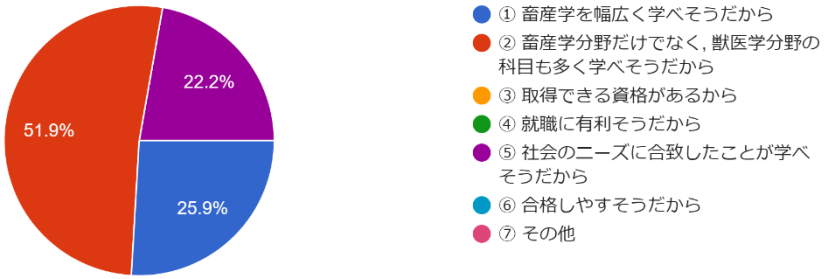


① 受験をすすめる
② 強く受験をすすめる
③ すすめない
④ わからない

①23名
②　４名
③
④　８名

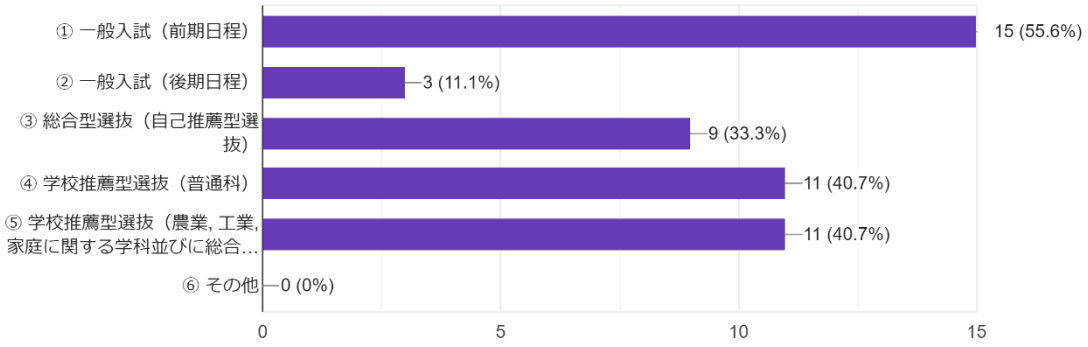
資料2： 高校向け Web アンケート調査結果　教諭　その3

質問5で,
「受験をすすめる」や「強く受験をすすめる」を選.... 生徒に受験をすすめる理由を選んでください。
27 件の回答

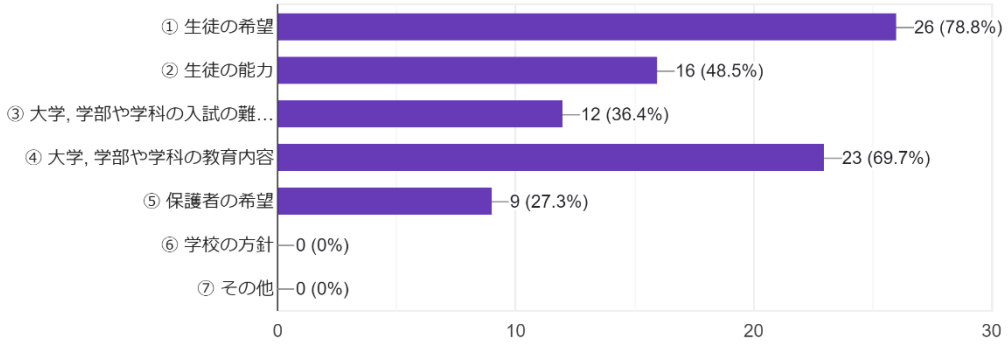


①　7名
②14名
③
④
⑤　6名
⑥
⑦

質問5で,
「受験をすすめる」や「強く受験をすすめる」を...める試験方法を選んでください（複数回答可）。
27 件の回答



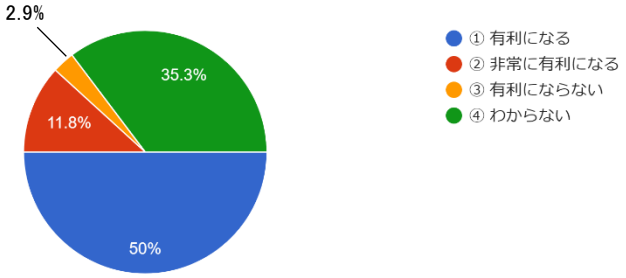
質問8. 生徒に大学受験を指導する際に, 最重視する項目について選んでください（複数回答可）
33 件の回答



資料2： 高校向け Web アンケート調査結果　教諭　その4

質問9. 新しい畜産学教育は卒業後の就職に有利になると思いますか？

34 件の回答

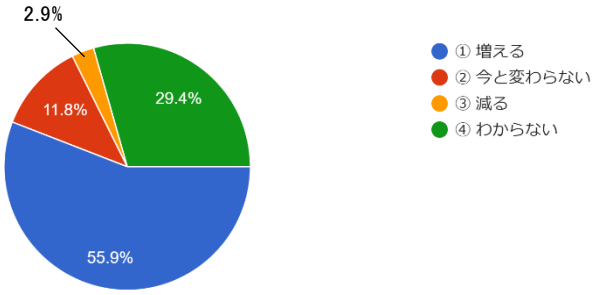


①17名
②　4名
③　1名
④12名

質問10.

これまでの説明にあるような新たしい畜産学教育…等に受験者のニーズは今後増えると思いますか？

34 件の回答

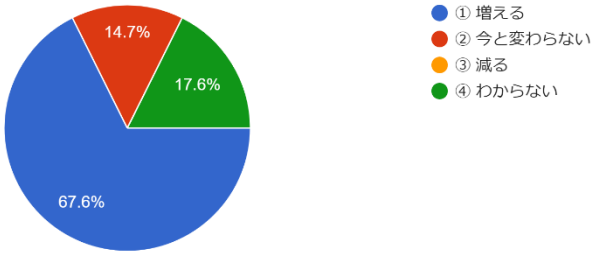


①19名
②　4名
③　1名
④10名

質問11.

新しい畜産学教育によって幅広い知識と技術を修…のニーズ（就職先）は今後増えると思いますか？

34 件の回答



①23名
②　5名
③
④　6名

資料2： 高校向けWebアンケート調査結果 教諭 その5

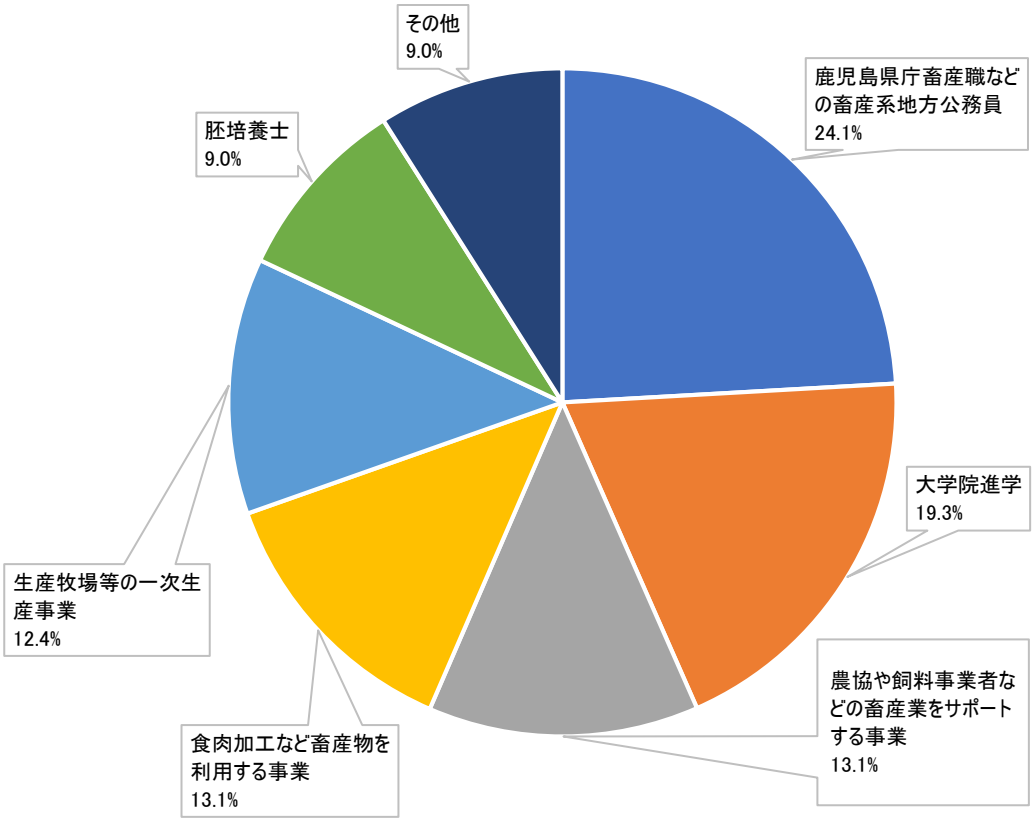
質問１２．その他、 ご意見や疑問等がございましたらお聞かせください。

- 獣医学部に組み込まれる事で、これまでより畜産の偏差値、難易度が上がっていくのでは？と想像する。また、共通テストで思うように得点できなかった生徒のスライド志望は増えそうな気もします。本気で畜産を目指す生徒が入学できるよう、推薦入試や総合型選抜などの拡充を期待します。
- 農業高校から貴大学へ受験しやすい選抜があると助かります。本校でも畜産に興味を持ち、志を持って国立大学進学を目指す生徒がおりますが、不合格になった際のリスクも大きいので慎重に判断しております。生徒の選択肢のひとつとして貴大学を候補に挙げていきたいと思いますので入試の制度や学校のPRをお願いします。
- （本校からから宮崎大学へ一昨年進学した生徒がおります。畜産・和牛について学ぶ意義は九州の大学は高いと考えます）
- 毎年、本校から畜産を学べる４年制大学農学部への進学者が数名います。また、ここ数年、国公立大学進学への意識の高い生徒が増えています。構想案の新しい畜産学教育課程ができた場合でも、現在農学部で実施されている学校推薦型選抜と同様に農業高校からの受験者に対しての専門高校推薦枠は存続していただきたいと思います。また、推進入試を実施される場合の受験方法及び受験科目等は、できるだけ早く公表していただければ幸いです。よろしくお願いします。
- 畜産科学コースが農学部から共同獣医学部に移ることで、志願者が増えて倍率が上がってしまうのではないかと思います。

資料3： 最近5年間の農学部の入試状況

年度	学科・コース	入学定員	志願者	志願倍率	受験者	合格者	追加合格者	入学辞退者	入学者
平成30	農業生産科学科	71	234	3.30	194	81	0	8	73
	食料生命科学科	66	195	2.95	155	82	3	17	68
	農林環境科学科	56	166	2.96	136	69	0	11	58
	国際食料資源学特別コース（農学系サブコース）	12	17	1.42	17	13	0	1	12
平成31	農業生産科学科	71	186	2.62	129	84	0	7	77
	食料生命科学科	66	150	2.27	119	79	0	13	66
	農林環境科学科	56	197	3.52	162	67	0	10	57
	国際食料資源学特別コース（農学系サブコース）	12	36	3.00	35	15	0	1	14
令和2	農業生産科学科	71	188	2.65	145	90	0	13	77
	食料生命科学科	66	178	2.70	124	75	0	6	69
	農林環境科学科	56	188	3.36	160	69	0	7	62
	国際食料資源学特別コース（農学系サブコース）	12	40	3.33	36	17	0	2	15
令和3	農業生産科学科	71	180	2.54	124	83	0	6	77
	食料生命科学科	66	162	2.45	109	79	0	11	68
	農林環境科学科	56	104	1.86	72	59	0	2	57
	国際食料資源学特別コース（農学系サブコース）	12	14	1.17	14	12	0	2	10
令和4	農業生産科学科	71	224	3.15	171	82	0	5	77
	食料生命科学科	66	170	2.58	137	76	0	6	70
	農林環境科学科	56	193	3.45	149	66	0	8	58
	国際食料資源学特別コース（農学系サブコース）	12	41	3.42	38	16	0	1	15
5年間の平均	農業生産科学科	71	202	2.85	153	84	0	8	76
	食料生命科学科	66	171	2.59	129	78	1	11	68
	農林環境科学科	56	170	3.03	136	66	0	8	58
	国際食料資源学特別コース（農学系サブコース）	12	30	2.47	28	15	0	1	13

資料4： 最近5年間の農学部農業生産科学科畜産科学コース及び大学院農林水産学研究科農林資源科学専攻畜産科学コースの就職・進学の状況



資料5. 畜産学教育改革と人育成に関する畜産関連事業者への要請書

令和４年９月９日

関係機関及び部局の長　殿

鹿児島大学長
佐　野　　輝

学部改組による鹿児島大学共同獣医学部畜産学科（仮称）新設への
協力要請について（お願い）

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より本学の獣医学教育研究活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨今の畜産業は、取り巻く国内外の社会情勢の大きな変化に伴って、家畜飼料の国産自給率の低迷や輸入価格の高騰、家畜排泄物等による悪臭・水質汚染・温室効果ガス・森林破壊等の環境負荷増大、延いては後継者不足などの深刻な課題を数多く抱えています。また獣医学が関わる農場や食品生産工程では、病原体侵入や動物感染症の蔓延、人獣共通感染症や食中毒のリスク、抗生物質の治療目的外使用や過剰投与と耐性菌による人と動物の健康被害、或いは動物福祉（アニマルウェルフェア）への対応が強く求められています。畜産学は、獣医学との結びつきが強いものの獣医学とは異なる特性をもちながら教育・研究が行われてきましたが、これら社会から向けられた畜産業における課題解決に取り組むためには、両学問分野が連携を強固にして新たな畜産システムを考究する教育研究体制の大きな変革が必要と考えています。

そのために、我が国における農学・獣医学・水産学の南の教育研究拠点である本学では、農学部及び共同獣医学部の改組を検討しており、具体的には、農学部農業生産科学科畜産科学コースを「共同獣医学部畜産学科（仮称）」として令和６年４月に新設し、畜産学教育の充実を図ることを構想しております。畜産学と獣医学のハイブリッド教育によって獣医師に比肩するスキルを身に付けた畜産技術者を輩出し、アニマルウェルフェアと One Health（人・動物の健康と環境の健全性）に加えて、社会からの信頼を得ることができる基盤的な食料提供システムの構築と、高付加価値な畜産食品を生産・供給する「新たな未来型畜産」の創出に貢献する所存です。

つきましては、本学における学部改組による畜産学教育の改革に関しまして、関係機関からのご賛同とご要請をいただけましたら幸いです。

よろしくお願い申し上げます。

敬具